

事務事業名		岩手県市町村農業農村振興対策協議会参画事業				☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業						
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興				事業期間		予算科目				
	施策名	20 地域の特性を生かした農林業の振興						会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 農業経営の安定化				☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 不明 年度～)		01	06	01	02	09
根拠法令						☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入						
所属	部課名 農林水産部 農林課 課長名 尾坪 明 係 名 農政係 担当者 舟野 みさき	電話	0192-27-3111		内線	7124						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・岩手県市町村農業農村振興対策協議会に負担金を支出する事業。 ・協議会では、効率的かつ安定的な農業経営の育成と農業及び農村の振興を推進することを目的に、県内市町村との連携を図り、農業振興に関する県内の要望を取りまとめ、国に要望している。 ・県内の市町村が協議会に参画している。 ・当市では、構成団体として、協議会に対し負担金を拠出している。								全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 協議会活動がないため、負担金の徴収はなし。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 協議会活動がないため、負担金の徴収はなし。					⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)				
					名称				単位
					ア 活動回数(協議会と連携・連絡を図った回数)				回
					イ				
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 岩手県市町村農業農村振興対策協議会					⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)				
					名称				単位
					カ 協議会構成団体数				団体
					キ				
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 負担金の納入により、協議会の運営が健全なものとなり、要望活動が円滑に行われる。					⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)				
					名称				単位
					サ 協議会の国への要望回数				回
					シ				
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安定して農業を営む。					ス				
(2) 総事業費・指標等の推移									
		単位	年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
		一般財源	千 円	0	0	0	0	0	
		事業費計(A)	千 円	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	0	0	0	0	0	0
		延べ業務時間	時 間	0	0	0	0	0	0
		人件費計(B)	千 円	0	0	0	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)		千 円	0	0	0	0	0
⑤活動指標		ア	回	0	0	0	0	0	
		イ							
		ウ							
⑥対象指標		カ	団体	35	35	35	35	35	
		キ							
		ク							
⑦成果指標		サ	回	0	0	0	0	0	
		シ							
		ス							

事務事業ID	496	事務事業名	岩手県市町村農業農村振興対策協議会参画事業
--------	-----	-------	-----------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

市では、国に対する要望等のため、以前から(具体的にいつからかは不明)岩手県市町村農業構造改善対策協議会に対し負担金を支出していたが、平成13年度から岩手県市町村農業農村振興対策協議会に名称が改まり、現状名称の協議会には、その年度から支出している。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

全国的な従事者の減少や高齢化の進行等の傾向は更に進み、所得の伸び悩み、耕作放棄地の増加など、多くの課題をかかえるに至っている。平成23年度以降は全国協議会が解散した影響もあり、協議会活動は休止状態である。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

特になし。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 ・協議会への参画を通し、農業振興に関する県内の要望を国に提出することが可能で、市の農業振興に寄与している。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 ・県内の市町村と連携を図りながら、農業振興を進めていく必要があり、関与は妥当。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 ・対象である岩手県市町村農業農村振興対策協議会に対し負担金を納入し、協議会の運営を支えている。県内の全市町村が加入し、連携を図って協議会の運営を保ち、要望活動が円滑に行われている現状であり、対象、意図とも適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 ・負担金の納入により協議会の運営が保たれ、年1度の国への要望が行われている。要望活動を今後とも円滑に実施するためにも、引き続き協議会へ参画し、成果の維持を図る必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 ・農政研修会、農業(山村)振興に関する県内の要望を国に提出するために、協議会への参画は引き続き必要。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・県内市町村が連携により支えられている協議会であり、統廃合はできない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・事業費は負担金のみ。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・負担金納入事務にかかる担当職員の人件費のみ。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ・受益者負担は発生しない。

事務事業ID	496	事務事業名	岩手県市町村農業農村振興対策協議会参画事業
--------	-----	-------	-----------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・H25は協議会活動がなかった。 ・協議会活動が必要となった場合は、事業への参画が必要となる。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・効率のかつ安定的な農業経営の育成と農業及び農村の振興を推進することを目的に、県内市町村との連携を図り、農業振興に関する県内の要望を国にあげるためにも、事業への参画が必要である。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																							

2次評価者	(職 名) ※原則として施策の主管課長 農林課長	(氏 名) 尾坪 明
-------	--------------------------	------------

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(3) 評価結果の根拠と理由 平成23年度は震災により負担金は免除され、支出はなかった。																					
(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり継続して事業を実施する。																					
		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
